

# 静岡県教員育成指標（副校長、教頭、主幹教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭）

## ～児童生徒のウェルビーイングの向上を目指して～

「未来を切り拓く人材の育成と社会を生き抜く力を育む教育の実現」に向け、  
生涯を通じて学び続け、児童生徒一人一人の夢の実現を支えていくことのできる教員の育成を目指す

キャリア ステージ		採用時	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期
		辞令交付される4月1日			退職する日まで
資 質 力		<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育に対する真摯な姿勢を持つとともに、求められる資質能力の基盤を形成しようと努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○他者との関わりや仕事上の経験を経て、教員としての資質能力の向上を目指す。</li> <li>○様々な学校の異動を経験する中で、視野を広げる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎・向上期に身に付けた力に加え、</li> <li>○自らの立場や役割を自覚して学校運営に参画し、ミドルリーダーとしての資質能力の向上を目指す。</li> <li>○教員としての幅をさらに広げ、自己の強みを確かなものにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○充実・発展期に身に付けた力に加え、</li> <li>○指導的な立場として、学校運営のサポート役や校内の人材育成の推進役を務めるとともに、専門性をより深め、自らの描いた理想とする教員像の実現を目指す。</li> <li>○学校運営をリードする立場として、組織的に教育活動を推進する体制を構築する。</li> </ul>
	キャリアステージに応じて、実践・省察・改善を繰り返しながら、必要な資質能力を身に付ける				
教育的素養・総合的人間力		<ul style="list-style-type: none"> <li>○教職人生を通して、教育者としての使命感、倫理観・人権意識、社会性、教育に対する誇りを持ち、新しい知識・技能を学び続け、児童生徒への共感・理解や教育的愛情の涵養、信頼関係の構築を図っている。</li> <li>○教職人生を通して、真摯に学び続ける姿勢と自律心、変化を恐れない積極性とリーダーシップを持ち、広い視野と社会環境への理解を基に地域社会と関わり、豊かな人間性の向上を図っている。</li> <li>○未来を切り拓く人材の育成を担う者として、常に児童生徒の模範となるよう行動している。</li> <li>○「ワークライフバランス」を良好に保ち、心身ともに健康的で職務に専念できるよう自己管理に努めている。</li> </ul>			
教育業務遂行力	組織運営力 多様な教育ニーズへの対応力 一人一人の教育ニーズに応じた支援を実践する力 組織目標を達成するために必要な力	<b>学習指導力</b> 授業づくりに関わる力	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させるとともに、「学びに向かう力、人間性等」の育成を基盤とした学習者中心の授業を実践している。</li> <li>○幼小中高の学びの連続性及び教科等横断的な視点を持った授業を実践している。</li> <li>○各教科等と地域の人的・物的資源をつなげ、学習成果を高める授業を構想している。</li> <li>○各教科等の特質に応じた見方・考え方を理解した上で、必要な専門的知識を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎・向上期に身に付けた力を深めている。</li> <li>○基礎・向上期に身に付けた力を深めている。</li> <li>○各教科等と地域の人的・物的資源を有効活用し、高い学習効果を上げる授業を構想している。</li> <li>○専門性を高めるために得意分野の伸長を図り、同僚に対する指導・助言を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○充実・発展期に身に付けた力に加え、学習指導力向上のための体制づくりに参画している。</li> <li>○充実・発展期に身に付けた力に加え、学校・家庭・地域の実態や特色等を把握した上で教育課程を改善し、組織的かつ計画的に教育活動の質の向上を図るカリキュラム・マネジメントに取り組んでいる。</li> <li>○自己の確かな実践に基づき、同僚に的確な指導・助言を行い、効果を上げている。</li> </ul>
		<b>生徒指導力</b> 児童生徒の自発的・主体的な発達を支援する力	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童生徒一人一人に寄り添い、個々の特性に応じた発達を促すとともに、発達段階に即して好ましい人間関係をつくれるよう、地域や外部関係者と連携して支援している。</li> <li>○児童生徒が深い自己理解に基づき、他者を尊重しながら、主体的な選択・決定ができる自己指導能力を育成する教育活動を実践している。</li> <li>○保護者等との信頼関係を基盤とした個に応じた指導・支援に取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童生徒一人一人を取り巻く環境を的確に捉え、理解を深めるとともに、よりよい集団づくりを促進し、個々の資質・能力を最大限発揮させるための環境づくりに努めている。</li> <li>○基礎・向上期に身に付けた力を深めるとともに、自らの実践を通して、同僚への指導・助言を行っている。</li> <li>○外部機関と連携し、主体的・組織的に生徒指導に取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童生徒一人一人について、教職員相互の理解・支援を促進するために、組織や地域・外部関係者に働き掛け、学年・学校全体として児童生徒を支援する機能の充実を図っている。</li> <li>○充実・発展期に身に付けた力に加え、チーム学校として組織的に実践するよう努めている。</li> <li>○外部機関と連携して組織的な生徒指導を推進し、指導・助言を行っている。</li> </ul>
		児童生徒の実態把握 指導の個別化 合理的配慮の提供 UDの視点を取り入れた生活づくり・授業づくり 外国につながる児童生徒への対応 「共生・共育」の理念に基づく教育など	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童生徒の発達等に関する知識を得ることや、多様な児童生徒と接する経験を持つことなどを通して、児童生徒の多様な教育ニーズへの対応に関する理解を深めている。</li> <li>○特別支援教育の対象となる児童生徒一人一人に応じた指導計画を作成するとともに、合理的配慮を踏まえた的確な指導を行っている。</li> <li>○外国につながる児童生徒の実態や特有の課題を的確に把握し、必要な支援を行うとともに、全ての児童生徒が広い視野を持って異文化を理解し共に生きていこうとする姿勢を育んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎・向上期に身に付けた力を深めるとともに、自らの実践を通して、同僚への指導・助言を行っている。</li> <li>○特別支援教育に関わる専門性を高めるとともに、自らの実践を通して、同僚への指導・助言を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童生徒の社会的自立を目指す特別支援教育について、組織的に教育活動の改善を図っている。</li> <li>○充実・発展期に身に付けた力に加え、外国につながる児童生徒への指導について、組織的に教育活動の改善を図っている。</li> </ul>
		・コミュニケーション ・ファシリテーション ・心理的安全性の醸成 ・協働による課題解決 ・人材育成 ・危機管理（リスクマネジメント）など	<ul style="list-style-type: none"> <li>○組織の一員としての自覚と責任、自ら進んで課題を発見し解決しようとする姿勢、聴く力や読み解く力などコミュニケーション力を身に付けている。</li> <li>○組織運営について先輩教職員から学ぶとともに、メンターとして後輩のよき相談役となっている。</li> <li>○危険を予測し、未然に防止するための取組を、意識して行動している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校経営計画の実現のための取組を、ミドルリーダーとして同僚に働き掛けて協働的に進めている。</li> <li>○同僚への指導・助言を行うなど、人材育成の経験を積むことで、その重要性を理解している。</li> <li>○危険を予測し、未然に防止するための取組を、同僚と協働して組織的に進めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校運営上の課題を適時・的確に分析し、その解決のために指導的な立場で参画している。</li> <li>○チーム学校として協働的な組織体制・信頼体制の構築を主導的に推進している。</li> <li>○人材育成の重要性を踏まえ自らの経験・スキルを率先して後進に伝えている。</li> <li>○危険を予測し、未然に防止するための体制整備を組織的に推進するとともに、適切な指導・助言を行っている。</li> </ul>
・新しい教育課題への対応 ・業務改善 ・危機管理（クライシスマネジメント） ・ICT機器とデジタルツールの利活用など	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教員の仕事の全体像を認識し、教育に携わる者として、社会の変化や様々な教育課題等について関心と知識を持っている。</li> <li>○様々な教育課題に対応するため必要な知識・技能を習得し、実践するとともに、常に改善意識を持って取り組んでいる。</li> <li>○常に安全確保に取り組み、危険を察知した際の報告・連絡・相談、事故等への対応、再発防止のための対策が迅速にできている。</li> <li>○ICT機器や情報・教育データ、生成AIを活用能力（情報モラル、生成AIを含む）を育成する指導を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○様々な教育課題を速やかに把握し、率先・協働して改善・解決するとともに、同僚への指導・助言を行っている。</li> <li>○事故等への適切な対応、事後の検証と再発防止のための対策が、同僚と協働して組織的にできている。</li> <li>○ICT機器や情報・教育データ、生成AIを適切に活用し、個人及び校務全体の効率化を図ったり、業務改善を進めたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○様々な教育課題に対して模範となる実践を行うとともに、学校全体を見据えて、魅力ある学校づくりを推進している。</li> <li>○事故等への適切な対応、再発防止のための体制整備を組織的に推進するとともに、適切な指導・助言を行っている。</li> </ul>		

- 上記表では教員に求められる資質能力の関係性を示しているが、順位性があるものではない。資質能力はバランス良く育成することが肝要である。
- 養護教諭及び栄養教諭は、本指標に加え、専門領域における資質能力について示した別紙を参照すること。
- 特別支援学校幼稚部の教諭も、本指標を準用する。
- 深化・熟練期には、再任用教諭を含める。

養護教諭の専門領域における資質能力  
(静岡県教員育成指標を補完する養護教諭に固有の専門領域に関する資質能力)

キャリア ステージ		採用時	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	
		辞令交付される4月1日			退職する日まで	
資質能力		<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育に対する真摯な姿勢を持つとともに、求められる資質能力の基盤を形成しようと努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○他者との関わりや仕事上の経験を経て、教員としての資質能力の向上を目指す。</li> <li>○様々な学校の異動を経験する中で、視野を広げる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎・向上期に身に付けた力に加え、</li> <li>○自らの立場や役割を自覚して学校運営に参画し、ミドルリーダーとしての資質能力の向上を目指す。</li> <li>○教員としての幅をさらに広げ、自己の強みを確かなものにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>充実・発展期に身に付けた力に加え、</li> <li>○指導的な立場として、学校運営のサポート役や校内の人材育成の推進役を務めるとともに、専門性をより深め、自らの描いた理想とする教員像の実現を目指す。</li> <li>○学校運営をリードする立場として、組織的に教育活動を推進する体制を構築する。</li> </ul>	
		キャリアステージに応じて、実践・省察・改善を繰り返しながら、必要な資質能力を身に付ける				
<b>教育業務遂行力</b> 学習指導力・生徒指導力・多様な教育ニーズへの対応力・組織運営力以外の専門的な力	<b>多様な教育ニーズへの対応力</b> 組織運営力 組織目標を達成するために必要な力	<b>学習指導力 授業づくりに関わる力 (保健教育)</b> ・各教科における指導への参画 など	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習指導要領・教育課程を理解し、児童生徒の実態に応じた保健教育の必要性を理解している。</li> <li>○児童生徒の実態に応じた個別の保健指導の必要性を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学級担任や教科担任等と連携し、養護教諭の専門性を生かした保健教育に参画・実施している。</li> <li>○児童生徒の実態や健康課題を把握し、その解決のために発達段階に応じた個別の保健指導を実施している。</li> <li>○保健だより等を作成し、家庭・地域に情報発信している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校教育活動全体を視野に入れた保健教育について、PDCAサイクルに基づき効果的に推進している。</li> <li>○保健教育を組織的に展開している。</li> <li>○教科等横断的な視点をもった保健教育を構想し、実践している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保健教育の推進にあたり、地域や多職種、他機関と連携した取組をしている。</li> <li>○保健教育の推進にあたり、専門的な立場から地域や多職種、他機関へ指導・助言を行っている。</li> <li>○地域、市町、県等の専門職研修・研究会等において指導的な役割を担っている。</li> <li>○研究的な視点を持ち、根拠に基づいた実践をしている。</li> </ul>
		<b>一人一人の教育ニーズに応じた支援を実践する力 (健康相談・健康相談活動)</b> ・心身の健康課題に関する児童生徒等への健康相談 ・健康相談・健康相談活動を踏まえた個別の保健指導 など	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校保健安全法による健康相談・教育職員免許法による健康相談活動の位置づけ及び内容を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○発達障がい、慢性疾患等、配慮を必要とする児童生徒の実態と背景の把握をもとに、保護者や他の教職員等と協力しながら個に応じたアセスメントや対応をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○適時かつ確に健康相談・健康相談活動を行うとともに、PDCAサイクルに基づき課題解決に向けた対応をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保護者・地域・関係機関と連携し、計画的・組織的な対応を行うにあたり、コーディネーターの役割を果たしている。</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康相談・健康相談活動の基本的なプロセス対応を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本人・保護者の思いを受け止めながら、地域・関係機関と連携し、健康相談・健康相談活動を実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康相談・健康相談活動を組織的に展開している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域、市町、県等の専門職研修・研究会等において指導的な役割を担っている。</li> <li>○研究的な視点を持ち、根拠に基づいた実践をしている。</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>○養護教諭の職務の特性や、児童生徒の心身の健康課題に関して理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○配慮を要する児童生徒の個別の指導計画等の作成に参画している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康相談・健康相談活動について、これまでの実践の蓄積をさらに深化させ、より良い方法を探究している。</li> </ul>	
				<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童生徒の心身の健康に関する課題を適切に把握し、管理職への報告及び関係者と連携を図り、学校生活によりよく適応していけるよう、課題解決に向け、教育活動全体を通じて組織的に支援・対応をしている。</li> </ul>		
			<b>(保健室経営)</b> ・保健室の設備・備品の管理 ・保健室経営計画の作成、実施、評価、改善 など	<ul style="list-style-type: none"> <li>○養護教諭の役割、保健室の機能に関する基礎的知識を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保健室経営計画を基に、保健管理、保健教育、健康相談、保健組織活動等について実践し、その過程や結果を評価し、改善している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保健室経営計画について、これまでの実践の蓄積をさらに深化させ、効果的な保健室経営を推進している。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○課題解決型の保健室経営計画の必要性を理解している。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校教育目標の実現に向けた保健室経営を工夫している。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域、市町、県等の専門職研修・研究会等において指導的な役割を担っている。</li> <li>○研究的な視点を持ち、根拠に基づいた実践をしている。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保健室の備品や薬品、文書管理等の基礎が身に付いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校教育目標、学校保健目標の具現化のための保健室経営計画を立て、校内で共有し、計画的・組織的に実践している。</li> </ul>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保健組織活動の意義と学校・家庭・地域等の協力・連携の重要性を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保健組織活動の企画・運営に積極的に取り組んでいる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○保健組織活動が効果的に実践できる内容の工夫や改善を図っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域や他校・他機関と協働した企画等を地域レベルで推進している。</li> </ul>	
	<b>(保健組織活動)</b> ・学校保健委員会や教職員の保健組織等への参画 ・地域社会との連携 など	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校保健計画、学校安全計画の内容を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保健組織活動を実践し、その過程や結果を評価し、改善している。</li> <li>○学校保健計画・学校安全計画等の策定に参画している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保健組織活動について、これまでの実践の蓄積をさらに深化させ、活性化するような取組を推進している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域、市町、県等の専門職研修・研究会等において、自らの実践を率先して伝える等、指導的な役割を担っている。</li> <li>○研究的な視点を持ち、根拠に基づいた実践をしている。</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○保健情報の収集・管理・発信方法について基礎知識及び重要性を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保健情報の収集・管理について、対象に応じた発信方法を工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保健情報の収集・管理について、対象に応じた発信方法の評価・改善を行い効果的に実践している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童生徒の健康課題に適切に対応するため、保健管理に関わる校内の運営組織での助言等、指導的な役割を果たしている。</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康診断や救急処置、疾病予防、健康観察、学校環境衛生等の基礎的知識を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童生徒の実態や健康課題を把握し、その解決のために発達段階・個に応じた対応をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校内における保健管理の指導的な役割を担い、児童生徒の健康課題の解決に向け、組織的に対応している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域、市町、県等の専門職研修・研究会等において指導的な役割を担っている。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校保健安全法や関連法規を理解している。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○PDCAサイクルに基づいた保健管理を実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校外内における関係者と連携しながら、PDCAサイクルに基づき効果的な保健管理を行っている。</li> </ul>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○救急処置や疾病予防等、常に最新の知識・技術を身に付け、的確かつ迅速に対応している。</li> </ul>					

●上記表では教員に求められる資質能力の関係性を示しているが、順位性があるものではない。資質能力はバランス良く育成することが肝要である。

栄養教諭の専門領域における資質能力  
(静岡県教員育成指標を補完する栄養教諭に固有の専門領域に関する資質能力)

キャリア ステージ		採用時	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	
		辞令交付される4月1日			退職する日まで	
資質能力		<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育に対する真摯な姿勢を持つとともに、求められる資質能力の基盤を形成しようと努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○他者との関わりや仕事上の経験を経て、教員としての資質能力の向上を目指す。</li> <li>○様々な学校の異動を経験する中で、視野を広げる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎・向上期に身に付けた力に加え、</li> <li>○自らの立場や役割を自覚して学校運営に参画し、ミドルリーダーとしての資質能力の向上を目指す。</li> <li>○教員としての幅をさらに広げ、自己の強みを確かなものにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>充実・発展期に身に付けた力に加え、</li> <li>○指導的な立場として、学校運営のサポート役や校内の人材育成の推進役を務めるとともに、専門性をより深め、自らの描いた理想とする教員像の実現を目指す。</li> <li>○学校運営をリードする立場として、組織的に教育活動を推進する体制を構築する。</li> </ul>	
		キャリアステージに応じて、実践・省察・改善を繰り返しながら、必要な資質能力を身に付ける				
教育業務遂行力 学習指導力・生徒指導力・多様な教育ニーズへの対応力 組織運営力 学習指導力・生徒指導力・多様な教育ニーズへの対応力・組織運営力以外の専門的な力	多様な教育ニーズへの対応力 組織目標を達成するために必要な力	<b>学習指導力 授業づくりに関わる力 (給食の時間の指導)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生きた教材としての学校給食の活用</li> <li>・教職員との連携 など</li> </ul> (教科等の指導) <ul style="list-style-type: none"> <li>・食育の推進</li> <li>・食に関する指導に係る全体計画の立案と推進</li> <li>・教科等への授業参画</li> <li>・教職員・保護者・地域・関係機関との連携 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○給食の時間の指導の基礎・基本を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校内の給食指導の運営や指導方法について組織的に取り組んでいる。</li> <li>○学校給食を生きた教材とし、教職員と連携して児童生徒の実態を踏まえた給食の時間における食に関する指導を計画的に実践している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教科等と連携した給食の時間における食に関する指導を実践している。</li> <li>○給食の時間の指導の計画、実施内容等について評価・改善を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○栄養教諭の専門性を生かし、周りにある教育資源や新しい指導方法を効果的に取り入れている。</li> <li>○同僚に的確な指導・助言を行い、効果を上げている。</li> </ul>
		一人一人の教育ニーズに応じた支援を実践する力 (個別の相談指導) <ul style="list-style-type: none"> <li>・実態に応じた相談指導 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校教育活動全体を通じて食育を組織的・計画的に推進することの重要性を理解している。</li> <li>○栄養教諭が食に関する指導において学校・家庭・地域等の連携・調整等の中核的な役割を担うことを理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童生徒の実態を踏まえ、食に関する指導に係る全体計画の策定に参画している。</li> <li>○食育の推進において校内で組織的に取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○食に関する指導に係る全体計画に基づいて実践し、評価・改善を行い、効果的に推進している。</li> <li>○食育の推進において教職員・保護者・地域等と連携・調整等を図り、組織的に取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保護者・地域・関係機関と連携し、食育の推進において中核的な役割を果たしている。</li> <li>○同僚に的確な指導・助言を行い、効果を上げている。</li> </ul>
		校内体制整備 教職員・保護者・地域・関係機関との連携 ※多様な教育ニーズへの対応力と組織運営力の双方に係る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童生徒の実態を踏まえ、各教科の学習指導要領に基づいた食に関する指導を行うことを理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童生徒の実態を踏まえ、教職員と連携し、学校教育目標や学習指導要領に基づいた食に関する指導を実践している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○栄養教諭の専門性を生かした食に関する指導を実践・調整している。また、教科等横断的な視点を持った授業を実践し、評価・改善を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○栄養教諭の専門性を生かし、周りにある教育資源や新しい指導方法を効果的に取り入れている。</li> <li>○同僚に的確な指導・助言を行い、効果を上げている。</li> </ul>
		(栄養管理) <ul style="list-style-type: none"> <li>・魅力ある献立の作成</li> <li>・情報提供 など</li> </ul> (衛生管理) <ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生管理指導</li> <li>・環境整備</li> <li>・安全管理</li> <li>・危機管理 など</li> </ul>	学校給食の管理 <ul style="list-style-type: none"> <li>○学校給食の栄養管理や献立作成に関する基礎・基本を理解している。</li> <li>○学校給食の衛生管理に関する基礎・基本を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校給食実施基準に基づき、児童生徒の実態や栄養摂取状況を把握し、地場産物や地域の資源を活用した魅力ある献立を作成している。</li> <li>○校内組織や家庭への積極的な情報提供を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○栄養管理に関する高い専門性を生かし、同僚に的確な指導・助言を行っている。</li> </ul>	

- 上記表では教員に求められる資質能力の関係性を示しているが、順位性があるものではない。資質能力はバランス良く育成することが肝要である。
- 教育上の高い相乗効果をもたらすために、「食に関する指導」と「学校給食の管理」は一体のものとして行うこと。
- 学校栄養職員も本紙を準用する。